第49号

調布市文化協会
調布市小島町2-33-1 調布市文化会館たづくり6F
URL： http://www.chofushibunkakyokai.jp
chofu-bunkyo@bj.wakwak.com

「今こそ文化の力を～文化協会への期待」

公益財団法人　調布市文化・コミュニティ振興財団
事務局長　土　方　和　巳

先月、防火・防災管理者研修を受講してきました。災害発生時に被害を最小限度にとめるための対策を学ぶ研修で、研修後は施設の細かい所や来館者の動きなどが気になるようになりました。今後も災害に対して万全の対策を講じてまいります。

さて、5月11日に「第57回調布市民文化祭実行委員会」に初めて出席いたしました。今までは教育委員会社会教育担当として公民館を通して地域文化祭に係わってきたところですが、3公民館それぞれの利用者の思い・地域の特色が良く出ているものでした。今年は調布市全体の文化祭の共催ということで、文化・コミュニティ振興財団としての参加です。調布市民の文化度の高さを大いに楽しみにしたいと思っております。

芸術・文化を歴史的にたどってみると、公民館や図書館などの社会教育行政の一環とされてきた時代から、文化芸術振興基本法の制定その後の生涯学習振興法の制定により、「文化の時代」「地方の時代」の提唱に見る地域文化の振興がまちづくりの中核に位置付けられたため、多くの自治体では文化振興担当が教育委員会から市長部局に移されました。

このような時代の潮流の中で45周年を迎えた調布市文化協会は一語では語れない大変なご苦労があったものと思います。今ここに調布市文化協会があるのは「高いレベルの文化的意識を持った会員の皆様」がたえまぬ努力を続けた結果だと聞いております。

芸術・文化は人々の心に安らぎを与え、地域の絆を深め、明日への生きる希望と勇気を与えてくれるものです。

人間関係が希薄でコミュニケーションが不足し無縁社会という言葉がでてきた今こそ、人々が出合い、語り合い、お互いを認め、豊かな人間関係を結ぶため芸術・文化の役割は非常に大きいものと思います。

これからも芸術・文化の振興を図るために、調布市文化協会と調布市文化・コミュニティ振興財団は連携・協力し市民の皆様に「調布の芸術・文化は最高」といわれるような地域づくり、まちづくりをしていきたいと思います。

調布市文化協会の益々のご発展を心より期待申し上げます。

2012（平成24）年度
調布市文化協会第46回定期総会

日　時　2012年4月27日〔水〕 18時～
会　場　調布市文化会館たづくり12階大会議場
出席者　84人　　回答なし　1人
委任状　7人　　　　　　（構成員92人）
議　長　粕谷和子氏（書道連盟）

第46回定期総会が標記の通りに開催されました。

恒例の通り高岡会長挨拶に始まり、ご来賓を代表して長友市長及び伊藤　学市議会議長よりご祝辞をいただきました。

議長に書道連盟の粕谷和子氏、書記に調布市奇術協会の岳野勝治氏が指名され、議事に入りました。

第１号議案　23年度事業報告

第２号議案　23年度一般会計決算報告及び23年度コミュニティサロン調布入間町会計決算報告及び会計監査報告がおこなわれ、それぞれ承認されました。

第３号議案　文化協会役員の承認会長１名、副会長２名、退任役員と新任役員の紹介。

第４号議案　24年度事業計画(案)

第５号議案　24年度一般会計予算(案)が審議され、いずれも承認されました。

調布市文化協会役員

任期
平成二十五年三月三十一日まで

〔会長〕
高岡　宮子（フラワーデザイン協会）

〔副会長〕
加藤　弘子（民謡舞踊好友会）
山野　　裕（エスペラント会）

〔事務局長〕
小川美代子（書道連盟）

〔会計〕
山岸　直子（ハワイアンフラ協会）
田代せつ子（三曲協会）

〔庶務〕
吉田　正夫（調布映像協会）
今中　秀昌（将棋連盟）

〔会計監査〕
齋藤　一正（歌謡同好会連盟）
岳野　勝治（奇術協会）

平成24年度主な事業から

第57回
調布市民文化祭のご案内

開催期間10月18日(木)～11月18日(日)

今回のテーマ
「未来を創る　文化の祭典」

今年は10月18日(木)開会式アトラクションとして・池谷端季(イケヤ ミズキ)氏のオルガン演奏が行われます。

10月20日(土)21日(日)には例年通り、「文化祭プラザ」が市役所前庭で囲碁や将棋の自由対局。たづくり東側広場でコーヒー販売や工芸実技コーナー・フラダンス、琴演奏などの野外ライブも行われます。

10月18日(木)～11月18日(日)まで「発表部門21団体」「展示部門8団体」の発表が順次行われます。

さらに期間中10月27日(土)～11月4日(日)の間、東部・西部・北部各公民館を中心とした地域文化祭も行われます。

愛知県半田市文化協会と研修交流

調布市文化協会副会長　山野　裕

6月3日(日)・4日(月)文化協会員30名、調布市のバスで半田市文化協会との研修交流旅行に出掛けました。

新しく出来た新東名高速をバスで快適に走り途中雨に降られましたが着いた時には止んでました。半田市は愛知県知多半島の中心的都市で人口は調布の半分、面積は2倍、今年市制75周年です。

昼食後市立博物館を元館長で、半田市文化協会会長の山田晃氏の解説で見学、特に市内に31台ある山車の一つがすばらしかった。

午後2時から2時間、半田市文化協会との交流会を開いた。会長の山田晃氏、副会長の長谷川寛子氏同竹内建造氏ら15名と市の生涯学習課長加藤義尚氏が参加された。

半田市文化協会は昭和54年創立、加盟59団体、会員一、一〇〇名。愛知県文化協会連合会に所属。芸術祭の運営、市の補助金や行政との関係等について活発に意見交換しました。調布市文化協会の運営に改めて自信を持ちました。

その後、小学校の国語教科書に入っている童話「ごんぎつね」の作者新見南吉記念館を見学。きつねが出てきそうな田園風景でした。

宿泊は知多半島師崎のホテルで参加者の親睦を大いに深めました。

翌日は師崎朝市に寄り、半田市に戻り、江戸に寿司がはやり始めた文化元年（一八〇四年）創業のミツカン博物館「酢の里」で酒粕酢醸造の歴史や製法を学び、国盛酒の文化館で日本酒について学んだ。黒壁の工場が並ぶ半田運河も印象的でした。楽しい2日間でした。

（写真　前田　豊）

歴史と文化のまち「半田市」

文化の粋を集めた豪華な山車。
江戸の面影が残る半田運河と蔵の街。
南吉童話の世界へ誘う200万本の彼岸花。
明治の息吹を今に伝える赤レンガ建物。
酒・酢・すし・知多牛・和菓子等々、多彩な食文化。
山車・蔵・南吉・赤レンガのふるさと、半田を訪ねました。

＝研修旅行に参加して＝

歴史と文化のまち　半田市へ

文化協会新役員・三曲協会　田代せつ子

新緑の美しい六月初め愛知県半田市の文化協会との交流に参加しました。

開通したばかりの新東名を軽快にバスは走り木々の緑に癒され半田市へ、歴史のある落着いた美しい街並、博物館では海も近く食の豊かな先人の暮しが見えました。

交流会では半田市の会長や理事の方々が活動をていねいにお話し頂だきましたが予算も少なく会場確保も中々むずかしくご苦労されているようすでした。

高岡会長は各市との文化協会交流についていつも井の中のカワズ大海を知らずにならぬようと言われていますが本当に調布市文化協会は何と恵まれている事でしょう感謝です。

宿での宴会では会員の見事な踊りやカラオケ，さすが皆様芸達者、おいしい食事と共に時のたつのも忘れ楽しい一時でした。

黒板塀の美しい博物館「酢の里」や国盛酒造を見学し新美南吉記念館では純粋な生き方に感動し、主人には国盛のおいしいお酒、孫には絵本「ごんぎつね」をおみやげにし帰りは雲がたなびく幻想的な富士山を車窓からながめ天気にも恵まれ充実した楽しい研修旅行になりました。

新役員に就任したばかりですが、参加された各団体の皆様の統卒の取れた行動に、あらためて感謝申し上げます。

半田市文化協会との交流

音楽連盟　出浦　義雄

今年度の研修旅行は、去る六月三、四日の一泊二日の日程で愛知県半田市文化協会との交流会となりました。高岡会長初め執行部の方々を中心に応募者三十名の参加となりました。調布を早朝六時五十分に出発、一路半田市に向う。

バスの中で参加者の自己紹介、運転手さんへの信頼アピール、特に永年尽力された吉井千香子さんの参加を拍手で大歓迎、半田市到着後、昼食をとり午後より半田市博物館内の会議場へ移動。半田市文化協会長を初め市当局者を含む役員の方々の歓迎を受け交流会議に入る。双方より資料交換後、参加者の紹介を行い、まず調布市文化協会高岡会長より当協会の創立、歩み、自主的文化活動の現状、行政及び関係機関との連携と信頼関係の大切さ、姉妹都市木島平村芸術文化協会他、毎年近隣都市と交流会を実施している状況等を説明した。半田市文化協会は山田晃会長が協会の歴史と文化活動状況予算措置の苦しい現状、行政機関との連携の難しさ等を話されたが特に行政との信頼構築等は調布市文化協会に学ぶべき事柄が多く、今後の協会運営の参考とする等が述べられた。交流会終了後、半田市が故郷である童話作者新美南吉記念館を見学。本日の宿泊先となる知多半島先端の師崎「美舟」旅館へ。美舟を含めて二日間の魚料理は美味しく、懇親会では多様な隠し芸で旅の疲れも癒やされ参加者の親睦を深め散会。翌日は朝市等を散策、帰途に着いたが全員元気で有意義な研修旅行でした。

実技講座

デジカメ&ビデオ初級講座

調布映像協会　黒澤　眞

今年のデジカメ&ビデオ初級講座は4月17・18日の2日間行いました。例年通り15名を超える参加者です。

行楽や記念行事に簡単に撮影出来るデジカメの人気は衰えず多くの人達が利用していて人気があります。

しかし最近のデジカメはどんどん高機能化され取扱説明書を見ても良く分からないと云う人も多く折角カメラを買ってもそのまま放置している初心者が大勢います。

講習会ではそんな人達を対象にカメラを買った時に最初に行う設定や撮影した写真の確認等から始まって特に初心者が苦手とする手振れ防止、半押しのピント合わせを重点的に学習しました。

今年も簡単な野外でのミニ撮影会を行い実際の景色や講習会参加者同士の人物撮影を行いましたので更に理解が深まったと思います。

昨年から始めたパソコンを持ち込み撮影した写真をパソコンに取込みアルバム作りや簡単な修正作業も行いました。

初めてのマジック

調布市奇術協会　岳野　勝治

5月19日(土)26日(土)の両日午後6時30分より参加者延35名、真剣な目差の中、講師によって模範演技が行われる度に「何でそうなるの?」と云う顔から、種明しのあとは「なあんだ…」となり練習を繰返して行きました。

「今度子供会で発表しなければならないの」と云う方々が複数おりタイミングは良かったようです。中には「次回、小学生の子供を連れて来ても良いか」とのお声もあり、終了後の感想をうかがった所「大変楽しかった」とのお声をいただきました。

この様な機会を与えて下さった文化協会に代表して感謝致します。

実技講座

女性のための将棋入門講座

調布市将棋連盟　大泉　紘一

去る五月一九日、二六日、六月二日の三日間で標題の講座を、「たづくり会館」で開催しました。

講師には、日本女子プロ将棋協会の山下カズ子五段（二代目女流名人）を招き、二〇名の参加者を集めました。三日間で、のべ四七名の参加がありました。男性には人気が有っても、女性からはいま一つという将棋ですが、全く将棋を知らない九名と少しは知っている初心者一一名が熱心に指導を受けました。山下五段の他、調布市将棋連盟会員の男性五名が、交代で指導を手伝いました。三日間の講義を終えると、全く知らなかった人も、一応将棋が指せるようになり、今後市将棋連盟主催の教室で練習を続けたい人も五指に余り大きな成果を挙げました。

篆刻講座　～自分のオリジナル印を彫ってみませんか～

調布市書道連盟　金井　茜

この講座では、初回に篆刻の基礎や、自分の印に彫る文字の書体変遷を学んだ上で印の原稿を作成し、第二回目で彫る練習をした後、いよいよ小さな本番の石に彫り、オリジナル印が完成しました。

石のように硬い表情で始まった講座でしたが、さすが篆刻に興味を持たれている皆さん、各作業に大変熱心に取り組んで下さり、質問を沢山いただくうちに、講師や助手として参加した私たちと受講者の皆さんが大変仲良くなり、とても硬い石を、和気あいあいとした柔らかな雰囲気の中で彫ることが出来たことが、大変印象的でした。このような講座を開講する機会を頂きました調布市文化協会の皆様に厚く御礼を申し上げます。どうもありがとうございました。

実技講座

茶道初心者講習会

調布市茶道連盟　宮崎　由美子

6月二十八日、二十九日と二日間の実技講座を行いました。

茶道は現実から離れた感じがすると言って二の足を踏む方もいらっしゃいますが、是非お茶の良い所を感じ取って頂きたいと思いましたので、お菓子の頂き方、抹茶の頂き方を中心に、茶会等に楽しく参加できるようにと指導を致しました。

参加した皆様も茶道の楽しさを感じて下さり、このような企画を喜んでいらっしゃいました。

施設その他皆様のご協力のお陰を持ちまして、無事に実技講座を終了した事を報告申し上げます。

調布は文化活動がしっかりしていると、市外の方からの声を聞きます。益々の発展を祈念致します。

有り難うございました。

24年度後半 実技講座実施予定

カラオケ実技講座初級・中級
調布市歌謡同好会連盟
24年7月7日(土)
7月14日(土)
時間　13時～16時

初心者のための詩吟講座
調布市吟剣詩舞道連盟
24年10月13日(土)
10月20日(土)
10月27日(土)
時間　13時30分～16時30分

大正琴実技講座
調布市大正琴連盟
24年11月18日(日)
11月25日(日)
時間　13時30分～15時30分

まゆの花初心者講習会
フラワーデザイン協会
24年11月17日(土)
12月8日(土)
時間　13時30分～15時30分

民謡舞踊初心者講習会
調布市民謡舞踊好友会
25年2月8日(金)
2月9日(土)
時間　10時～11時50分

調布市長と語る文化懇談会

調布市文化協会事務局長　小川美代子

日　時　平成24年7月9日18時
会　場　文化会館たづくり6階
出席者　文化協会役員理事46名

研修旅行で伺った半田市にある〝ミツカン酢〟の工場で頂いたブルーベリー味のお酢を、皆様にお配りして開始となりました。

市長からは、八月十九日(日)の京王線の地下化について、ホームにホームドアがつきましたが、各駅で稼働日に違いがある旨のお話から始まり、十八の踏切がなくなり南北が、安心安全かつ自由に経済・文化の活性化を、大いに期待できると力強いお話でした。

加盟団体からは、活発な多くの活動報告がありました。

又、現在、報道をにぎわしている、児童のいじめ自殺について、「調布の教育委員会は、機能しているかどうか?」という質問に、市長は機能していると、ハッキリと答えて下さいました。

話題は、尽きませんでしたが、有意義な市長との懇談会は終了しました。

第22回「木島平村芸術文化協会との文化交流」参加者募集

調布市文化協会と木島平村芸術文化協会との姉妹都市文化交流事業の一環として、木島平村の第28回夏祭り「盆踊り」に参加し、木島平村芸術文化協会との「交流会」を行い相互の親睦を深めるものです。

日　時　平成24年8月11日(土)12日(日)
宿泊先　パノラマランド木島平
　☎〇二六九−八二−三〇〇一
費　用　一四、〇〇〇円
　(宿泊費、昼食2回、交流会費、保険、見学料等)
申込先　所属団体又は文化協会事務局

調布よさこい二〇一二

※平成24年8月26日(日)
※流し踊り
　旧甲州街道・調布〜布田間
※定点踊り
　布多天神社
　ハッピーまつり会場
※出店
　蓮慶寺前参道会場
　上布田ご縁の市会場
　ハッピーまつり会場
　布多天神社会場
※文化協会は模擬店の「かき氷」一杯二百円を、蓮慶寺前参道会場で実施。

編集後記

木々の若葉を吹き抜ける爽やかな風に移り行く季節を感じる頃ですが、不順な天候が続き体調管理が難しいこの頃です。第46回総会も皆様のご協力で予定通り無事に終了致しました。

調布市文化協会は今後も新しい体制で文化活動を活発に展開して行く考えです。今回の会報発行にあたりお忙しいところ原稿をお寄せ頂いた方々、そしてご協力下さった皆様方に心から御礼申し上げます。

(加藤　弘子
吉田　正夫)